

## 第 11 回小松ビジュアル俳句コンテスト入賞・入選者

### 歌舞伎のまち小松の部

森村誠一記念賞

多田 檀 (大阪府高槻市)

「昼寝して傾城過る夢を見し」



歌舞伎のまち小松賞 黛まどか選

木幡忠文 (東京都足立区)

「色もたぬ絢爛もあり白牡丹」



歌舞伎のまち小松賞 織作峰子選

二宮正博 (福岡県筑紫野市)

「狭き門通り抜ければ天高し」



### 芭蕉の部

森村誠一記念賞

半田信和 (福井県坂井市)

「三度目の夏をぐいぐい登りゆく」



芭蕉賞 黛まどか選

木幡忠文 (東京都足立区)

「千年杉触れれば春の湿りかな」



芭蕉賞 織作峰子選

伊藤明大 (滋賀県長浜市)

「夏の夜や時計の回る音だけを」



### 北枝の部

森村誠一記念賞

飯野 佳代子 (埼玉県美里町)

「三寒をこもり四温に旅へ出る」



北枝賞 黛まどか選

飯野 佳代子 (埼玉県美里町)

「ことのほかあつけらかんと梅雨明くる」「てんと虫樂園と化す蕊の中」



北枝賞 織作峰子選

有賀 三枝子 (石川県小松市)



### 能順の部 (能順賞)

堀 結葉 (角川下ワング学園N中部)

「星月夜届かぬ夢に手を伸ばす」



### 曾良の部 (曾良賞)

Dan C. Iulian (ルーマニア)

sandcastles— we all were once kings  
砂の城 われらかつては 王であった (木村聡雄和訳)



## 入選

### 芭蕉の部

---

森村誠一記念賞（入選）

嶋川龍雄（青森県大鰐町）

「することのあるようでなき年の暮」



入選 黛まどか選

半田信和（福井県坂井市）

「三度目の夏をぐいぐい登りゆく」



入選 織作峰子選

菅嶋 マキ子（石川県小松市）

「忍ぶこと慣れて艶めく寒椿」



入選 織作峰子選

徳永康人（和歌山県橋本市）

「夢覚めて浮世小路にキリギリス」



### 北枝の部

---

森村誠一記念賞(入選)

石川 昇（東京都世田谷区）

「独りにはひとりの理由日向ぼこ」



森村誠一記念賞(入選)

野村昌弘（神奈川県平塚市）

「誰しものがつい見得を切る秋舞台」



入選 黛まどか選

小林明子（群馬県邑楽町）

「石仏を覆い尽くして苔青し」



入選 黛まどか選

清水千華（石川県小松市）

「白山の真白きころの蕪汁」



入選 織作峰子選

大平 まさひこ（石川県金沢市）

「メニュー見ず出す指2本まずビール！」



## 能順の部 (入選)

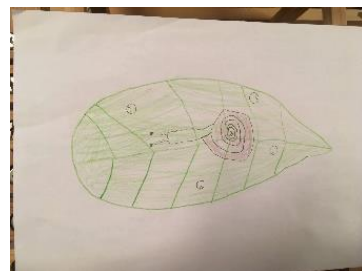
菅野善雄 (首里高等学校)

藤倉 柊 (角川ドワンゴ学園N中等 部) 佐々木 睦 (横浜市立東本郷小学校)

「ラガーらの勝利の水をかけ合ひぬ」

「夏深しもう少しだけ感じたい」

「ぬれし葉をハイキングするかたつむり」



## 曾良の部 (入選)

服部彩香 (愛知県瀬戸市)

sans attendre la pie, vers toi (フランス語)

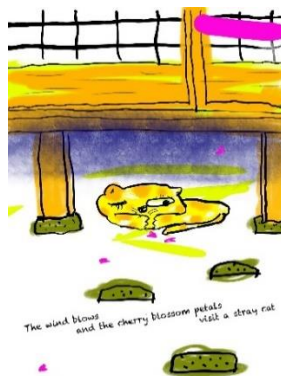
カササギを 待たず あなたのもとへ (本人和訳)



西山研二 (福岡県福岡市)

The wind blows and the cherry blossom petals visit  
astray cat

風吹いて 庭猫訪ねる 桜かな (本人和訳)



Dan C. Iulian (ルーマニア)

deserted hamlet— the borderless sky end of path

村廃れ 境なき空 道の果てに (木村聡雄和訳)

